

婦人週間アンケート結果報告

労働省婦人少年局

は し が き

本年の婦人週間は、アジアで初めて開かれた万国博覧会の会期中にあたることから、財団法人日本万国博覧会協会の理解と協力のもとに、4月14日を特に万国博における「婦人の日」と定め、各種の記念行事が行なわれた。

本調査もその一つとして行なわれたものであって、婦人の地位や政治意識に関心をもたれている方々の御参考になれば幸いである。

調査の実施にあたり御協力いただいた財団法人公明選挙連盟及び日本万国博覧会協会・日本館ならびに関係各位に対し厚く御礼申しあげる。

昭和45年7月

労働省婦人少年局

目 次

はしがき

調査の概要	2
Ⅰ 調査の目的	2
Ⅱ 対象者及び調査時期	2
Ⅲ 方 法	2
Ⅳ 調査項目	2
調査結果	4
Ⅰ 回答者の属性	4
Ⅱ 婦人の地位に関して	5
Ⅲ 政治意識等について	9
Ⅳ 万国博見物の動機	13
婦人週間記念アンケートのお願い	15

調 査 の 概 要

I 調査の目的

万国博婦人の日の記念行事の1つとして、婦人週間の趣旨や婦人の政治的関心などについて、一般の意識を把握することを目的とした。

II 対象者及び調査時期

万国博婦人の日（4月14日）に日本館に入場した成人男女約2万8千名。ただし、有効回答数は10,344名

III 方 法

婦人少年局職員及び日本館従業員が、日本館に入館するために待っている対象者に調査用紙を配り、待ち時間を利用して対象者自身に記入してもらい、即日回収した。

IV 調査項目

（全員に）

1. あなたが万国博を見にこられた気持は次のどれですか。

（5項目掲示）

2. 婦人週間があることを知っていましたか。

3. 婦人の能力は男性にくらべて生かされていないという見方がありますが、あなたはどう思いますか。

（20才以上の人に）

4. あなたは昨年1・2月の衆議院議員の総選挙の時はどのようにしましたか。

5. 自分が選んだ議員の言動に注意していますか。

6. 婦人の政治意識は高いと思いますか。

調 査 結 果

I 回答者の属性

1. 性 別

有効回答者総数10,344名を性別にみると男性54.5%,女性は45.6%となっている。

ちなみに当日の日本館入場者総数は、日本館事務局の調べでは子どもを含めて50,660名で、これは4月14日までの平均入場者数より約2,000名少なかった。

2. 年 令

総 数	20才 未 満	20 ～29	30 ～39	40 ～49	50 ～59	60 ～69	70才 以 上	不 明
100%	9.5	31.3	17.7	17.8	12.5	6.3	1.5	3.4

回答者を年齢別にみると20才台が最も多く31.3%を占め、30才台・40才台が17.7～8%,70才以上の者も1.5%いる。

また、成人とみられる人を対象に調査票を配付したが20才未満の回答者が9.5%ふくまれていた。

なお、未婚別にみると、回答者のうち48.8%が既婚者で、未婚者は32.5%,不明が18.7%であった。

3. 住んでいる都道府県

回答者の住んでいる都道府県をみると、北は北海道から南の鹿児

島まで、全県にわたっている。

これを地域的にみると、地元大阪の14.1%をトップに、兵庫(7.6%),京都(5.3%)など近畿地区に住んでいる者がさすがに多く、近畿6府県だけで30.3%を占めている。このほか、東京(8.5%),愛知(3.8%),北海道(3.1%),岐阜(2.9%),静岡(2.7%),広島(2.5%),長野(2.4%),神奈川(2.2%)などが多い。

また、この他質問の性格上この集計からは除外したが、沖縄及び外国(韓国・台湾・ブラジルなど)に住んでいる人からの回答も(30名)あった。

4. 職 業

回答者のうち、職業ありと答えたものが75%,家事のみや学生など無職と答えた者が20.7%,無記入者や不明の者が4.3%あった。

有職と答えた者の62.1%は雇用されており、家業は26.6%,内職者も2.8%,あった。

また、無職と答えた者では学生が最も多く、45%,家事のみ39.6%,その他8.1%となっている。

II 婦人の地位に関して

1. 婦人週間について

婦人週間があることを知っていた者は63.0%とかなり多く、知らなかった者は31.6%である。

前年大阪府の協力により職業サーヴィスセンター・阿倍野公共

職業安定所・天満公共職業安定所に来所した婦人を対象に行なった同種の調査「婦人週間に関するアンケート」にくらべて婦人週間を知っていると答えた者の比率が10ポイント以上高い。(第1表の2参照) これを性別にみると、婦人週間を知っている者は女性の方が男性にくらべ6ポイント多い。

また、婦人週間を知っていた者について、何によって知ったかを項目をあげて聞いてみると、テレビ・ラジオが最も多く、知っている者の51.6%、ついで新聞(27.1%)、ひとの話(5.8%)、会合(4.6%)の順になっている。

性別にみると、男女とも知り得た方法についての順位は変わらないが、男性の場合は新聞で知った者の割合が女性に比べて多く、また、「ひとの話」や「会合」で知った女性の割合が男性にくらべて多くなっている。

第1表 婦人週間があることを知っていましたか(%)

		総 数	男	女
1. 知 っ て い た		63.0 100.0	60.4 100.0	66.1 100.0
何 に よ っ て	テレビ・ラジオ	51.6	50.5	52.3
	新聞	27.1	30.4	23.9
	会 合	4.6	3.7	5.9
	ひとの話	5.8	4.2	7.6
	そ の 他	7.4	8.0	7.0
2. 知 ら な か っ た	不 明	3.4	3.2	3.6
		31.6	34.8	28.5
不 明		5.4	4.7	5.3

第1表の2 婦人週間をごぞんじですか(%)

		総 数
1. 知 っ て い た		51.0 100.0
何 に よ っ て	テレビ・ラジオ	41.2
	新聞・雑誌等	38.8
	会 合	6.0
	家族・友人・知人の話	10.3
	その他・不明	3.7
2. 知 ら な か っ た		49.0

註、「婦人週間に関するアンケート」—昭和44年4月大阪において実施

これを前記の大阪での調査と比較してみると、テレビ・ラジオで知ったという婦人は今回の回答者が多く(10ポイント)、一方、新聞で知ったのは前年の回答者に15ポイントも多い。

2. 婦人の能力は男性にくらべて生かされていないという見方について

「婦人の能力は男性にくらべて生かされていないという見方がありますが、あなたはどう思いますか」という問いに対して「婦人の能力は生かされていない」と答えたものが61.8%で、婦人の能力は生かされていると答えた者は全体のわずか15.5%にすぎない。

これを性別にみると、生かされていないと答えた者は女性の側に多く、(男性の60%に対し女性は65.3%)婦人の能力は生かされていると答えたのは男性が多い(女性の12.4%に対し男性は

18.3%)。

生かされていない理由としては「婦人の努力が足りない」と答えたものが生かされていないと答えた者の過半数を占め、また「職場や家庭での婦人への理解が十分でない」と答えた者もかなり多い(41.5%)。

性別にみると、男性は「婦人の努力が足りない」と答えた者が多く半数を超え(生かされていないと答えた者の55.7%)職場や家庭での婦人への理解が十分でないと答えたものは37.5%である。

また、女性の場合をみると、「職場や家庭での婦人への理解が十分でない」と答えた者(46.3%)が、わずかながら「婦人自身の努力が足りない」(45.6%)と、婦人自身に原因がある答えた者よりも多くなっている。

第2表 婦人の能力は男性にくらべて生かされていないという見方に対してどう思うか(%)

		総 数	男	女
婦 人 の 能 力 は 生 か さ れ て い な い	小 計	61.8 100.0	60.0 100.0	65.3 100.0
	婦人の努力が足りない	51.0	55.7	45.6
	職場や家庭での婦人への理解が十分でない	41.5	37.5	46.3
	そ の 他	6.3	5.1	7.4
	不 明	1.2	1.7	0.7
婦人の能力は生かされている		15.5	18.3	12.4
わからない		8.9	9.1	8.7
不 明		13.9	12.6	13.6

III 政治意識等について

この項目については、全て20才以上の者と限定して答えてもらったものである。

1. 昨年12月の衆議院議員の総選挙の時投票しましたか

昭和44年12月27日の第32回衆議院議員総選挙の折、投票したと答えた者は77.3%である。(自治省発表の同選挙の投票率は全国平均68.5%)。

なお、棄権した者が8.2%あり、その時は選挙権がなかったという者も2.4%あった。

投票率を性別にみると、男79.5%に対し、女75.5%と、この調査では女性の投票率は男性の投票率を下回っている。(自治省発表の同選挙の投票率は、男67.9%、女69.1%で、女性の方が高い。)

投票したと答えた者に、投票する人の選び方についてきいてみると、「自分ひとりの考え」で選んだ者が9割近くあり、「ひとのすすめたとおりにした」者は1.5%である。

「ひとと話しあって選んだ」と答えた者も7.7%あった。

投票した人の決め方を性別にみると「自分ひとりの考えで選んだ」人は男性では90%以上、女性は85%となっている。

「ひとと話し合って選んだ」者は、女性では1割を超えているが男性では5%となっている。また、「ひとのすすめた通りにした」者は女性で2%いるのに対し、男性では0.8%にすぎない。

なお、財団法人公明選挙連盟の行なった世論調査「衆議院議員総

総選挙の実態Ⅰ」(註)によれば、「自分の考えで」(第3表の2「1～11」)選んだのは男性の89.6%に対し、女性は65.1%となっている。また、「ひとのすすめたとおり」(同12～14)にしたのは女性の25.6%に対し男性では1割にみえない。さらに「ひとと話し合って」(同「15～16」)も女性に多く(17.5%)、男性では4.8%となっている。

(註)

第32回衆議院議員総選挙での投票を把握することを目的に、昭和45年1月7日～11日に全国の満20才以上の男女3,000名を対象として行なったものである。

第3表 第32回衆議院議員選挙の投票状況(%)

		総数	男	女
投票した		77.3 100.0	79.5 100.0	75.6 100.0
投票方法 した人の選	自分ひとりの考えで	88.4	91.2	85.6
	ひとと話し合って選んだ	7.7	5.3	10.3
	ひとのすすめたとおりにした	1.5	0.8	2.3
	不明	2.4	2.6	1.8
棄権した		8.2	7.8	9.0
その時は選挙権がなかった		2.4	2.4	2.5
不明		12.1	10.3	12.9

第3表-2

あなたが誰に投票するか決めるのに決め手になったのは次のどれですか

1. 選挙公報をみて	7.6%	71.8 (男89.6 女65.1)
2. 演説をきいて	3.0	
3. 候補者からの文書によって	0.6	
4. 縁故者だから	0.3	
5. 政党を考えて	28.4	
6. 新聞をみて	17.4	
7. テレビをみて	3.4	
8. ラジオをきいて	6.6	
9. よく知っている人だから	0.2	
10. 世話になった人だから	0.8	
11. よく知っている人だから	3.5	
12. 知人からたのまれて	1.7	9.0 (男9.6 女25.6)
13. 組合や団体のすすめで	4.7	
14. 町内部落の申し合せて	0.3	
15. 家人と相談して	10.3	11.7 (男4.8 女17.5)
16. みんながいい人というから	1.4	
17. その他・不明		

(註) (1) 財公明選挙連盟調「衆議院議員総選挙の実態Ⅰ」による。

(2) 便宜上、1～11までを「自分で選んだ」12～14を「人にすすめられて」15～16を「人と話しあって」とした。

2. 自分が選んだ議員の言動に注意していますか。

自分の選んだ議員の言動に「いつもよく注意している」者が34.2%あり、「たまには注意している者を含めると、全体の7割を超えており、「注意していない」と答えた者は10.3%にすぎず、この限りでは、選挙や政治に対する無関心層は意外に少ないと言えるのではなかろうか。

性別にみると、「いつもよく注意している」男性は43.8%で、これに対し、女性は23.1%と低く、「たまには注意している」者は女性に多く(41.8%)、男性は32.7%となっている。

また、「注意していない」のは女性に多く(13.3%)、男性は1割に満たない。

第4表 選んだ議員の言動に注意しているか(%)

	総数	男	女
いつもよく注意している	34.2	43.8	23.1
たまには注意している	36.6	32.7	41.8
注意していない	10.3	8.1	13.3
不明	18.9	15.4	21.8

3. 婦人の政治意識は高いと思いますか。

婦人の政治意識が高いと思うと答えた者は全体の13.1%にすぎず、はっきり低いと答えた者が過半数を占めている。高いか低いかわからない、あるいはどちらとも言えないと答えた者も14.1%あ

あった。

性別にみると、婦人の政治意識が高いと答えたのは男性の14%に対し、女性は11.7%と2ポイント少ない。また、政治意識が低いというものも男性に多く60.0%で、女性の55.3%を上回っている。

第5表 婦人の政治意識は高いと思うか。

	計	男	女
高い	13.1	14.0	11.7
低い	57.1	60.0	55.3
わからない	14.1	11.8	17.0
不明	15.7	14.3	16.0

IV 万博見物の動機

日本万国博覧会見物の動機で最も多いのは「日本では今後当分みられないので話のたねに」というので44.8%、ついで「外国のことが知りたかった」というのが33.1%、「おもしろそうだから見物に来た」者も12.3%あった。また、「みんながいくから」と答えた者も3.5%あった。

見物の動機については、性別による差異はみられない。

第 6 表 万博見物の動機 (%)

M・A

	総 数	男	女
おもしろそうだから見物に来た	12.3	12.8	12.0
外国のことを知りたかった	33.1	33.5	32.4
日本では今後当分みられないというので話のたねに	44.8	43.6	46.3
みんながいくから	3.5	3.5	3.5
そ の 他	9.6	9.8	9.6
不 明	4.6	4.0	5.5

(附)

婦人週間記念アンケートのお願い

次の質問について該当するところに○印をつけてください。

問 1.

1. 性 別		1. 男 2. 女	4. 住んでいる 都道府県名	※(記入しないこと)
2. 未婚婚別		1. 未 婚 2. 既 婚	5. 年 令	1. 20才未満 2. 20才～29才 3. 30才～39才 4. 40才～49才 5. 50才～59才 6. 60才～69才 7. 70才以上
3. 職 業	1. ある → 2. なし →	1. 勤めている 2. 家業をしている 3. 内職をしている 4. そ の 他 1. 家事のみ 2. 学 生 3. そ の 他		

問 2. あなたが万博を見にくられた気持は次のどれですか。

1. おもしろそうだから見物に来た
2. 外国のことを知りたかった
3. 日本では今後当分みられないというので話のたねに
4. みんながいくから
5. そ の 他

問 3. 婦人週間があることを知っていましたか。

1. 知っていた →

何 に よ っ て	{	1. テレビ・ラジオ
		2. 新 聞
		3. 会 合
		4. ひとの話して
		5. そ の 他

2. 知らなかった

問 4. 婦人の能力は男性にくらべて生かされていないという見方がありますが、
あなたはどのように思いますか。

1. 婦人の能力は生かされてない その理由は →

{	1. 婦人自身の努力が足りない
	2. 職場や家庭での婦人への理解が十分でない
	3. そ の 他

2. 婦人の能力は生かされている

3. わからない

これからあとの質問は20才以上の方だけおこたえ下さい。

問 5. あなたは昨年12月の衆議院議員の総選挙の時はどのようにしましたか。

1. 投票した →

{	1. 自分ひとりの考えで選んだ
	2. ひとと話しあって選んだ
	3. ひとのすすめたとおりにした
2. 棄権した
3. その時は選挙権がなかった。

問 6. 自分が選んだ議員の言動に注意していますか。

1. いつもよく注意している
2. たまには注意している
3. 注意していない

問 7. 婦人の政治意識は高いと思いますか

1. 高 い
2. 低 い
3. わからない